

平成 30 年度 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業

「特発性正常圧水頭症の診療ガイドライン作成に関する研究」

(H29-難治等(難)-一般-037) 班会議

日時:平成 30 年 12 月 1 日(土曜日)12:50-16:35

場所:順天堂大学 10 号館 1 階カンファレンスルーム

◆ ご案内

【日時】 平成 30 年 12 月 1 日(土) 12:50-16:30

【場所】 順天堂大学 10 号館カンファレンスルーム

【参会受付】

12 時 30 分より順天堂大学 10 号館 1 階カンファレンスルーム前受付にて開始いたします。

【発表者の皆様へ】

原則的にご自身のノート型 PC をご持参下さい。(windows,Mac とも可)

Mac をご持参の方は、プロジェクターと PC を接続するための専用アダプターをご持参下さい。

発表時間は各分担項目合計 10 分(発表 5 分、discussion5 分)とさせていただきます。

◆ 会場のご案内

【J R 線】「御茶ノ水」駅下車(御茶ノ水口)・・・徒歩約 7 分

【地下鉄】(丸の内線)「御茶ノ水」駅下車 ……徒歩約 7 分

順天堂大学 10 号館 1 階カンファレンスルーム



【時間帯】

- I. 研究代表者から挨拶（順天堂大学 新井 一） 12:50-12:55
- II. 来賓ご挨拶（厚生労働省 ご担当者様、国立保健医療科学院 武村真治様） 12:55-13:00
- III. 事務局からの連絡（順天堂大学 宮嶋 雅一） 13:00-13:05
- IV. 各課題からのご発表（各分担項目合計 10 分（発表 5 分、discussion5 分））

<重要臨床課題の担当者>

1. 疫学 加藤 丈夫、栗山 長門 13:05-13:15
 2. リスクファクター 加藤 丈夫、栗山 長門 13:15-13:25
 3. 病理、病因 加藤 丈夫、栗山 長門 13:25-13:35
 4. 歩行障害 石川 正恒、山田 茂樹 13:35-13:45
 5. 認知障害 數井 裕光、吉山 顕次 13:45-13:55
 6. 排尿障害 數井 裕光、吉山 顕次 13:55-14:05
 7. 三徴の出現頻度 數井 裕光、吉山 顕次 14:05-14:15
 8. 三徴以外の症状 森 悦朗、數井 裕光 14:15-14:25
 9. 画像診断 青木 茂樹、佐々木 真理、石井 一成 14:25-14:35
 10. 髄液排除試験 石川 正恒、山田 茂樹 14:35-14:45
- <休憩 14:45-14:55>
11. ICP モニタリングと CSF ダイナミックテスト 間瀬 光人、村井 尚之 14:55-15:05
 12. 脳脊髄液・血清生化学的検査 徳田 隆彦、宮嶋 雅一 15:05-15:15
 13. 鑑別診断 森 悦朗、數井 裕光 15:15-15:25
 14. 併存疾患 森 悦朗、數井 裕光 15:25-15:35
 15. 手術法 伊達 勲、鮫島 直之、亀田 雅博、中島 円 15:35-15:45
 16. シヤントシステム 松前 光紀、喜多 大輔 15:45-15:55
 17. パルプの圧設定 三宅 裕治、梶本 宜永 15:55-16:05
 18. シヤント術後の転帰 貝嶋 光信、木村 輝雄 16:05-16:15
 19. リハビリテーション 平田 好文、厚地 正道 16:15-16:25
 20. 医療経済 伊達 勲、亀田 雅博 16:25-16:35

分担項目	クリニカルクエスト
1. 疫学 加藤 丈夫、栗山 長門	・特発性正常圧水頭症の発生頻度、有病率はどのくらいか？
2. リスクファクター 加藤 丈夫、栗山 長門	・特発性正常圧水頭症のリスクファクターにはどのようなものがあるか？ ・AVIM(特発性正常圧水頭症に特徴的な脳画像所見を呈するが無症候)から特発性正常圧水頭症に進展する割合はどのくらいか？
3. 病理、病因 加藤 丈夫、栗山 長門	・特発性正常圧水頭症に特徴的な病理所見はあるか？
4. 歩行障害 石川 正恒、山田 茂樹	・特発性正常圧水頭症に特徴的な歩行障害の適した評価法は？
5. 認知障害 数井 裕光、吉山 顕次	・特発性正常圧水頭症における認知障害の特徴は何か？ ・特発性正常圧水頭症の認知障害の評価方法は何か？
6. 排尿障害 数井 裕光、吉山 顕次	・特発性正常圧水頭症における排尿障害の特徴は何か？
7. 三徴の出現頻度 数井 裕光、吉山 顕次	・特発性正常圧水頭症の三徴の出現頻度は？
8. 三徴以外の症状 森 悦朗、数井 裕光	・特発性正常圧水頭症における行動心理症状の特徴は何か？ ・特発性正常圧水頭症のその他の症状は何か？
9. 画像診断 青木 茂樹、佐々木 真理、石井 一成	・特発性正常圧水頭症のCT, MRI所見はどのようなものか？ ・特発性正常圧水頭症の診断に拡散強調像は役に立つか？ ・特発性正常圧水頭症の核医学検査所見の特徴は何か？
10. 髄液排除試験 石川 正恒、山田 茂樹	・タップテストや持続ドレナージテストでシャント手術の治療効果は予測可能か？ ・タップテスト後に評価するタイミングはいつが推奨されるか？
11. ICPモニタリングとCSFダイナミックテスト 間瀬 光人、村井 尚之	・ICPモニタリングやCSFダイナミックテストでシャント手術の治療効果は予測可能か？
12. 脳脊髄液・血清生化学的検査 徳田 隆彦、宮嶋 雅一	・特発性正常圧水頭症の診断および予後予測する髄液バイオマーカーはあるのか？
13. 鑑別診断 森 悦朗、数井 裕光	・特発性正常圧水頭症の鑑別診断上問題となる疾患にはどのようなものがあるか？また鑑別点は何か？
14. 併存疾患 森 悦朗、数井 裕光	・特発性正常圧水頭症における重要な併存疾患が及ぼす影響は？
15. 手術法 伊達 勲、鮫島 直之、亀田 雅博、中島 円	・特発性正常圧水頭症の症状改善にはどの手術方法が最も有用か ・シャント手術における合併症を減らすための工夫としてはどのようなものがあるか
16. シャントシステム 松前 光紀、喜多 大輔	・特発性正常圧水頭症の治療に有用なシャントシステムはどれか？
17. バルブの圧設定 三宅 裕治、梶本 宜永	・特発性正常圧水頭症における圧可変式バルブの初期圧設定はどうすれば良いか？ ・特発性正常圧水頭症の短期、長期的な転帰、および症候別改善度はどのように変わっているか？ ・特発性正常圧水頭症に対するシャント後の合併症にはどんなものがあるか？ ・合併症出現頻度はシャントバルブにより差があるか？ ・特発性正常圧水頭症術後の長期管理上の留意点は何か？
18. シャント術後の転帰 貝嶋 光信、木村 輝雄	・特発性正常圧水頭症術後の短期、長期的な転帰、および症候別改善度はどのように変わっているか？
19. リハビリテーション 平田 好文、厚地 正道	
20. 医療経済 伊達 勲、亀田 雅博	・シャント手術の費用対効果に(最も)影響を与える因子は何か